

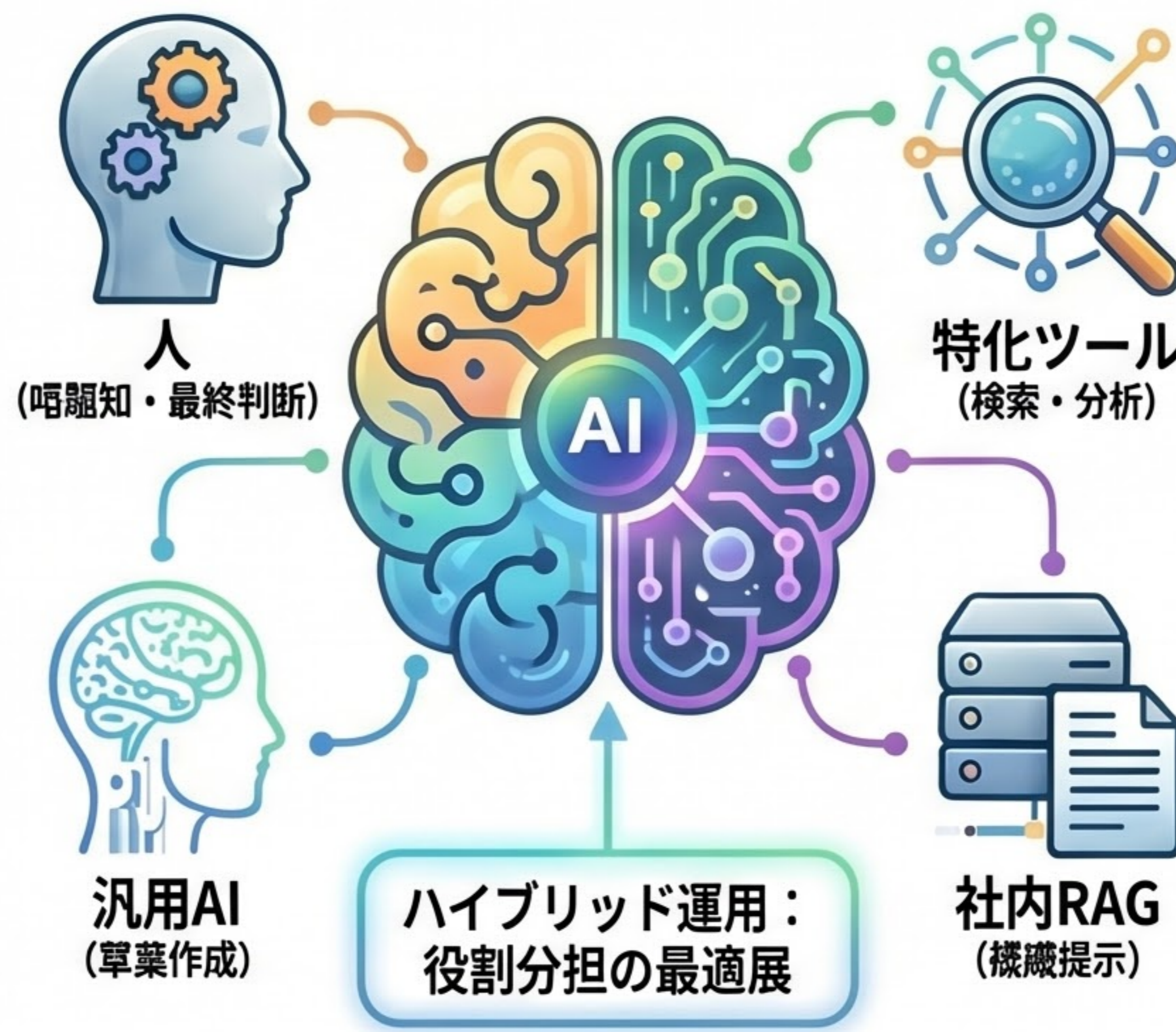
知財業務のAI革命：3ヶ月で成果を出す「ハイブリッド型」導入戦略

知財部門が短期間で効率化を実現し、中長期的に高度な意思決定基盤を構築するためのAI活用ロードマップで、具体的なツール設定・運用指針を提示する。

Section 1: 圧倒的な成果を示す国内先行事例

島津製作所：劇的なコスト・工数削減
 年間外部コスト**8,000万円削減**
 発明届出工数**50%削減**
 生成AI内割活用、唱題知をプロンプト化（形式知化）、他社特許スクリーニング手作業90%削減。

日本ガイシ：AI分類精度
 再現率**97%**・適合率**91%**
 分析環境を1日で構築
 LexisNexis Classification (Cipher) 活用、人手によるノイズ特許除去を機械学習で解決。



Section 2: 役割別・AIツールエコシステム

AIエージェント (Manus)
調整登番審査代理、社大QA、異持審査・審査量化工数人師工数。

コーディングAI (Claude Code)
スクリプト構築、データ掘削、周辺業務の自動化 (工数20-50%削減)。

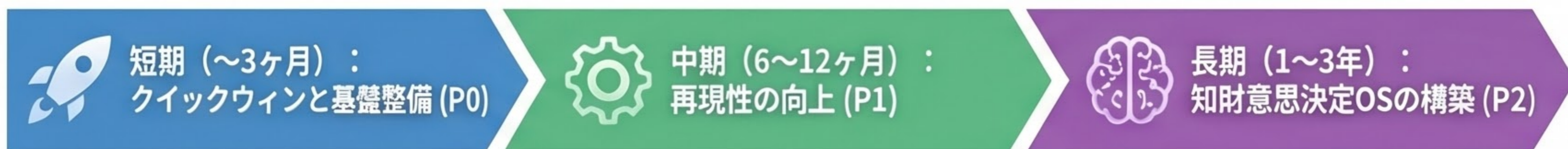
知財特化検索 (PatSnap/Ambercite)
先行田調開案、FTO調案、調査段階の特認、引継キネットワークで質で備える権利 (PatSnap特認81%、Ambercite特認98%以上)。

特許ドラフト (PatentPal)
明問書・目録の自動土斯、特認の在応注時間の20-40%削減。

主なツールと期待効果比較

ツールカテゴリ	AIエージェント	コーディングAI	知財特化検索	特許ドラフト
主なツール	Manus	Claude Code	PatSnap	PatentPal
対象業務	面問審査書作成、社内QA、資料整理・唱題変化の工数人師正減。	スクリプト照版、データ抽出、周辺業務の自動化 (100%削減)。	先打田調開案、FTO開業、特認回自の被認、引継キネットワーク自認	明問書・回自の自動土斯、機微的な特認時間の20-50%削減。
期待される効果	調明セットックを50%削減。	周辺業務の自動化 (工数20-50%削減)	PatSnap特認81%、Ambercite特認98%以上	機微的な特認時間の40%削減

Section 3: 知財AI導入ロードマップ (P0~P2)



Key Points

- P0業務の選定とガバランスの明文化。発明届出の一分評価や契約の定定デックを最優先、同問に力禁止ルール提議。

Key Points

- 社大RAGの実装とバテントマップの自動化、過去集計や掘掘理由知知をRAGで参照可能。AI分解説によるランドスケープ分析の定期運用開始。

Key Points

- 部門判断的な「意思決定基盤」への進化。研究・事務・事業専門と連携、判断ログを一体化した高度な知財戦略プラットフォーム完成。

Section 4: 失敗しないための実装手標とKPI

4つの評価指標 (KPI)

時間 | 品質 | コスト | リスク

コンプライアンスの振制

「人は最終承認、AIは下書き」の徹底。政府ガイドラインに授測し、重要判市の機標 (出賢) をログとして賢を体割が、AI活用の大認標。

Measurement

1認問あたりの 規認時間 | レビュー 急し遅し率 | 初交審 助認 | 入力特認比 認認率